



平成 21 年 5 月 15 日
株式会社シノケングループ
代表取締役社長 篠原 英明
(J A S D A Q ・ 8 9 0 9)

個別業績の前期実績との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 21 年 3 月期の個別業績について、前期実績と比較して差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期個別業績の前期実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
平成 20 年 3 月期実績(A)	8,929	168	127	15	391 円 08 銭
平成 21 年 3 月期業績(B)	481	4	52	3,780	95,186 円 42 銭
増 減 額 (B - A)	8,448	164	75	3,795	95,577 円 50 銭
増 減 率 (%)	94.6	97.6	59.0	-	-

2. 差異の理由

当社は、平成 19 年 10 月 1 日付けで持株会社へ移行しており、移行後の個別収益は子会社及び関連会社からの配当及び経営指導料等の内部取引で構成されております。

売上高に関して差異が生じたのは、平成 20 年 3 月期は持株会社への移行期であり、不動産販売（投資）事業会社としての売上高が平成 19 年 9 月 30 日まで計上されているためです。

営業利益及び経常利益に関しても、上記と同様の理由により差異が生じております。

当期純損失に関しては、米国サブプライムローン問題に端を発した金融危機により实体经济が急落する中で、投資家からの資金流入の減少や金融機関の慎重な融資姿勢等、不動産取引の流動性が著しく低下する非常に厳しい環境が続いた影響により、当社の主要な連結子会社である株式会社シノケンの個人向けアパート販売事業及びマンション販売事業が大幅な赤字を計上する見込みとなったことから、平成 21 年 3 月期において、特別損失として投資損失引当金 3,053 百万円及び貸倒引当金 659 百万円を計上し、3,708 百万円の当期純損失を計上する見込みとなったため差異が生じております。

以上